

一般社団法人ギビングフォワード 第5期事業報告書

(2022年11月1日～2023年10月31日)

本事業年度は、株主優待寄附プラットフォーム（通称「優活プロジェクト」）の運営及び企業の防災備蓄品の寄贈のアレンジに加えて、上場企業の株主優待制度に寄附の選択肢を盛り込むための助言・提案業務に初めて取り組んだ。

第1 事業活動

1 優活プロジェクト

優活プロジェクトは、パートナー団体である公益財団法人パブリックリソース財団の協力のもとに運営している。優活プロジェクトにおける寄附スキームには、株主優待品をNPOに現物寄贈する**現物寄贈型**と、寄附を受けた優待券を全部換金し、運営費を控除したうえでNPOに金銭寄附をする**金銭支援型**の2種類がある。寄附企業が現物寄贈型を選択したときは、同財団の運営する寄附プラットフォームのGiveOneの登録団体（約220団体）からの公募によって寄附先団体が選定される。

本事業年度は、合計7つの企業グループから優活プロジェクトに総額11,326,084円相当の株主優待品（物品を除く）の寄附（パートナー団体への寄附を含む）を受け、現物寄贈を3回、金銭寄附を1回（12団体）実施した。また、優待物品の寄贈も4回実施した。

2 防災備蓄品等の寄贈

前年度に引き続き、企業の防災備蓄品（ペットボトルの水、非常食など）の寄贈のアレンジに取り組んだ。消費期限が近付いた防災備蓄品を、提供企業から直接当法人が選定したNPOに搬送いただいている。防災備蓄品は定期的に入れ替えが発生するため、継続的な支援に繋がっている。本事業年度の寄贈実績は次のとおりである。また、コンサートチケットの寄贈も1件アレンジを行った。

2022.10 第5回防災備蓄品

2023.03 第6回防災備蓄品

2023.05 第7回防災備蓄品

2023.10 第8回防災備蓄品

3 株主優待制度に関する助言等

前年度から新たな取り組みとして、近年事業活動が環境や社会に与える影響を意識する企業が増加しているのを受けて、企業に対して、株主優待制度に寄附の選択肢を盛り込むための提案・助言を開始した。今年度は上場会社1社（コクヨ株式会社）に対して寄附先の選定に関する助言等を実施した結果、同社から2団体に対して総額3,458,000円の寄附が行われた。

4 広報

本事業年度はウェブサイトを中心に寄贈実績の報告等の広報を行った。広報活動の強化が引き続き課題となっている。

5 収支等

以上の結果、当事業年度においては、経常収益6,500,028円（前年比+4,859,196円）、経常費用4,924,262円（前年比+3,781,303円）、当期経常増減額1,575,766円（前年比+1,077,893円）、正味財産期末残高3,203,595円（前年比+848,820円）という結果となった。

第2 組織運営

当法人は、理事4名、監事1名、常勤スタッフ1名（外部委託）および外部の選考委員2名という体制で運営している。役員及び委員は全員無報酬である。また、法人の社員は2名

(代表理事と理事1名)である。当法人は、本事業年度において、次のとおり組織運営を行った(いずれも zoom 併用にて開催した)。

1. 社員総会 2回

1) 定時総会

日程、会場：2021年12月17日、当法人事務所会議室

目的：第3期事業報告、計算書類および附属明細書の承認

2) 臨時総会

日程：2022年2月18日、当法人事務所会議室

目的：理事2名選任(退任理事1名の後任と新任を各1名)

2. 理事会 4回

1) 第12回理事会

日程、会場：2023年12月16日、当法人事務所会議室

目的：第4期計算書類および事業報告書の承認、定時社員総会招集の承認、理事の業務執行状況の報告ほか

2) 第13回理事会

日程、会場：2023年3月17日、当法人事務所会議室

目的：金銭支援型への移行、物品寄贈団体の見直し、選考委員人事についての協議ほか

3) 臨時理事会

日程、会場：2022年5月18日、当法人事務所会議室

目的：物品寄贈先団体の再選定、SMBC 案件の寄附先再選定

4) 第14回理事会

日程、会場：2023年10月26日、当法人事務所会議室

目的：次年度事業計画書及び予算案の協議、理事の業務執行状況の報告ほか

3. 選考委員会

物品寄贈先団体及びメガバンク案件の寄附先再選定及び寄贈先の公募の際に、選考委員2名に事務局選考案についての意見を求めた。

4. その他

理事全員が参加するマーケティング定例会を毎月実施している。

以上

事業報告の附属明細書

(2022年11月1日～2023年10月31日)

1. 事業報告の内容を補足する重要な事項

該当なし

以上